



花は無くても、
実の有る人生。

桃井 かおり 第1回 監督作品

い ち じ く

無花果の顔

脚本・監督・出演：桃井 かおり

主演：山田花子／石倉三郎 高橋克実 岩松 了 光石 研 渡辺真起子 HIROYUKI

製作：菊野善衛・川原洋一 エグゼクティブプロデューサー：森田瑞松・植田奈保子（シテリピング） 統括プロデューサー：日下部 哲 スーパーバイザー：久保貴洋英 協力プロデューサー：原 和政
美術監督：木村威夫 撮影：釘宮慎治 照明：中村裕樹 衣裳デザイン・アートディレクション：伊藤佐智子 美術：安宅紀史 録音：高橋義照 VFXスーパーバイザー：鹿角剛司
音楽プロデューサー：Kaz Utsunomiya 音楽：Glad Benamram／主題歌「How Your Trees Will Grow」 監督補：服部光則 編集：大島ともよ スクリプター：内田殉子 助監督：蘆田 完 制作担当：佐々木 享
企画・製作：AGORA 製作協力：バラレル 協賛：インデックス・ビジュアルアンドゲームス、三協、フォルツァ・グラフィコ、明月庵田中屋、インターティー・エス・オー 特別協賛：ハウス食品 協力：SKII 配給：シナジー

特別製作協力：シテリピング

2006/日本/カラー/94分/35ミリ/ヴィスタ(1:1.85)/ドルビーSR

©2006 AGORA Co.,Ltd.

— 第11回釜山国際映画祭正式招待作品 —

原案から脚本、監督まで、純正の桃井かおり映画。

無名の新人女優としてハリウッドに乗り込み、『SAYURI』で大成功をおさめた桃井かおり。自然体の生き方がカッコいいエッジレスな女性の代表として、あらゆる世代の支持を集める彼女が、自身の小説を元に脚本を執筆し、長編映画の監督に初挑戦。誰にも真似のできない独創的なスタイルの＜家族の映画＞を作り上げました。「人と人は何を頼りにつながっているのだろう?」という問いかけを、一組の家族を軸に描く不思議なファンタジー、『無花果の顔』。花が咲かないのに実をつける、無花果の木の醸し出す不思議さに魅せられて、観る人の心が映画とつながっていくでしょう。

生と死の香る不思議の庭で、誰かを信じたくなります。



私と母と父と弟、恋人と2度目の父。心がつながる物語

主人公は、庭に無花果の木が植えられた古い日本家屋に住む門脇家の4人家族。縁側に面した茶の間で和気藹々と鍋を囲む彼らは、ありふれた日常を生きているように見えながら、実はドラマチックな人生を歩んでいきます。家出。引っ越し。再婚。出産。思いがけない人生の節目に、おたがいの秘密を知って驚き、さりげなく絆を意識することになる家族たち。彼らの心と心がつながる瞬間を、あるときはいとおしむように優しく、あるときはわざと素っ気なく、個性的な映像の中に切り取っていく桃井監督。実が成らず、花も咲かなかった無花果の木が、家族の思いに培われて白い花をつけるラスト・シーンには、ふんわりとした心地よい感動が広がります。

桃井かおりの挑戦 × 山田花子の勇気

4人家族の長女であるヒロインの結芽を演じるのは、同性にも人気の高いお笑いタレントの山田花子。そんな花ちゃんの「寡黙な熱演」をドンと受け止める母親役に扮するのは、「キャスティングの苦労がひとつ減るから」という理由で、自身を起用した桃井かおり。いつもながらの存在感たっぷりの演技を見せる彼女に加え、石倉三郎、高橋克実など、個性豊かなベテランたちが脇を固めています。

才能のスパークが止まらない、ビッグなスタッフ

桃井かおりの初監督を盛り立てるべく、集まったのは、日本映画界の宝物のようなベテランのスタッフたち。美術監督には『ツイゴイネルワイゼン』の木村威夫、撮影は『蝉しぐれ』の釘宮慎治、照明には『世界の中心で、愛をさけぶ』の中村裕樹、衣装デザインには『春の雪』の伊藤佐智子と、ビッグ・ネームがズラリ。全員が桃井監督とクリエイティブ魂を競い合いながら、この映画に熱い想いを注ぎ込みました。

A KAORI MOMOI FILM
faces of a fig tree
www.129-movie.com

いちじく
無花果の顔

12月23日(土)よりお正月ロードショー

特別鑑賞券 ¥1,500 (税別) 絶賛発売中! (当日一般 ¥1,800のところ)